

1 確かな学力 <かしくく>

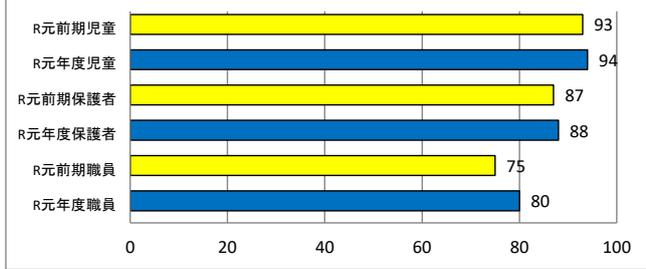
具体的な内容	自己評価A	関係者評価	関係者評価委員(学校評議員)のコメント
自分の考えをもって意欲的に学習に取り組み、互いに学び合う中で、基礎学力・活用する力が向上している。	前期 おおむね良好	良好	学習環境が工夫され、とても充実していると考えられる。子どもたちの学習する姿や学習状況調査等の結果からも指導の成果がうかがえる。今後も指導方法を工夫し、意欲的に学習に取り組む子どもを育ててほしい。
	年度 おおむね良好		
評価指標	実践課題		主な取組
(1)学習への意欲的な取組	①基礎的な学習習慣の形成と定着		・「学習の約束」・話型、聴型の活用・家庭学習や音読の習慣化・月例テストの実施
	②表現力・思考力の育成		・授業の振り返り・読書、作文の時間の確保・スピーチ推奨・「道徳コーナー」の活用
(2)学力向上	③学習状況調査、NRT・CRT等結果の分析と活用		・結果の分析と補充、回復指導・パワーアップの実施・学力向上対策の共通理解と施行
	④学力向上のための具体的な取組		・家庭学習と朝学習の連携・「北小スタイル」の定着・ノートの効果的な活用
			自己評価B 前期 年度

【前期(一年度)】
 ・聞き方や話し方を中心とした学習習慣の定着を図るために、カードを使って個人や学級で振り返りをし、学期初めにも再度指導する。家庭学習は、内容面の向上を図るために年2回の全員ノート展(他学年児童からのコメント付き)を実施する。月曜日の読書デーの実施と昼読書や短作文の時間確保を確実に実行し、短作文は学級掲示する。本紹介や音読発表会など学団毎の集会を計画的に実施し、内容を次年度に引き継ぐ。
 ・朝学習の表現(水曜日)の取組み方やその成果をCRTや県の学習状況調査等により検証し、次年度継続するか検討したい。
 ・全国学力・学習状況調査やNRTの分析から課題を改善し、学習状況調査等に生かし学力の向上を図りたい。そのために分析会を行い、今後はパワーアップを計画的に進める。

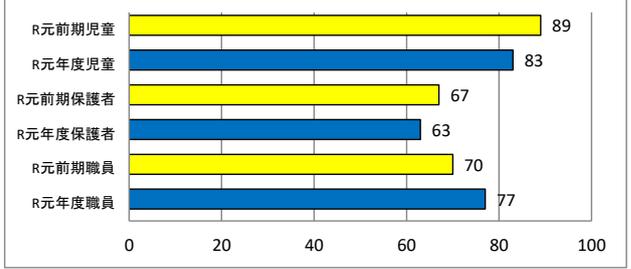
【年度(一次年度)】
 ・学期初めにカードを使って、聞き方や話し方(話型やハンドサインの活用)など基本的な学習習慣の定着を図る。
 ・家庭学習の習慣化と内容面の向上を目指し、年2回の全校ノート展(他学年からのコメント付き)を実施したり、担任以外の先生にも定期的に家庭学習ノートを見てもらったりする。
 ・短作文の全校掲示、月曜日の「読書デー」の実施、ピリオバトルの定期開催、学団での交流会などを通して、表現力や思考力を高めたい。
 ・パワーアップタイムは、学習の復習として有効な取組みであるので、来年度も実施して学力の定着を図りたい。取組の時間については、朝と昼や朝と放課後など検討していきたい。
 ・来年度はCRTの実施時期を少し早めて12月初旬に実施することで、2学期中に一度結果を活用した回復指導を行いたい。

<(1)に関するデータ>

①基本的な学習習慣の形成と定着



②表現力・思考力の育成

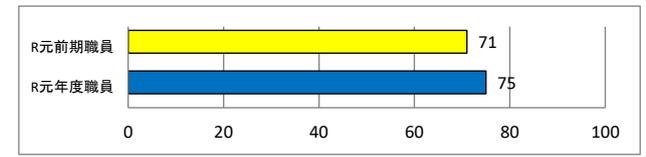


(保護者アンケート記述より)
 ・学習したことがなかなか身に付かない。
 ・ゲーム、TVなどに夢中になり、勉強に気が向かない。
 ・作文や日記を書く機会が減ってきているのではないか。
 ・自分の好きなことを勉強する日があると、自主的に勉強に取り組む力が付くと思う。
 ・月例テストに向けて見直しをもつことでやる気が出た。

基本的な学習習慣の形成と定着に関しては、児童・保護者ともに「おおむね良好」と捉えている。家庭学習に関しては、前期に比べ、工夫した学習の仕方や丁寧なノートづくりが見られてきた。教職員の意識も含め、前期に比べ、改善傾向にあることがうかがえる。今後も、家庭・学校が連携し、自分で課題を見つけて主体的に家庭学習に取り組む児童を育てていきたい。
 読書、スピーチや作文等に関しては、朝作文や昼読書、日々の授業の積み重ねで改善を図っているが、保護者の評価が低い。校内での取組の様子が子どもの姿や作品となって伝えられるような工夫も必要である。

<(2)に関するデータ>

③新NRT・全国学力学習状況調査等の分析と活用



各種検査の分析と活用に関しては、今年度も、全職員で計画的に分析に当たった。また、低学年の学級担任も分担して「パワーアップ」に取り組むなどして、全校体制で学力向上に取り組む。全国学力・学習状況調査においては、国語・算数とも全国の平均を上回っている(算数に関しては県の平均も上回っている)。

④学力向上のための具体的な取組例

どんな力がついたか

- きづき(自分の考えの変化)
- ためになった友達の考え
- ぎにやってみよう
- これから生かしたいこと

学習のやくそく

- 前の時間の学習が終わったら、次の時間の学習の準備をしよう。
- 背すじをのばして、正しい姿勢できこう。
- 話す人を見ながら、静かに最後まで聞こう。
- はっきりした返事をしよう。
- 声の大きさに気をつけて、最後まではっきり話そう。
- わけいをもとに、聞き手に分かるように話そう。
-

北小スタイルの学び例～振り返りの仕方

「学習のやくそく」の共通理解と指導の徹底

- ※ 8月21日 全体研修会(全国分析)
 - ※ 11月12日～12月3日 4～6年生北っ子パワーアップ
 - ※ 2月7日 県学習状況調査分析報告会
 - ※ 2月19日 CRT分析報告会
- * 補充指導、個別指導は随時実施

自己評価A及び外部評価の評価区分
○ きわめて良好
○ 良好
○ おおむね良好
○ やや不十分
○ 努力を要する

自己評価Bの評価基準
5 実現状況は極めてよく意識も高い/数値目標に対して91%以上達成・前年度比108%以上
4 実現状況は良好で意欲もある/数値目標に対して80～90%達成・前年度比103～107%
3 実現状況はおおむね良好/数値目標に対して60～79%達成・前年度比98～102%
2 実現状況はやや不十分で取組が不安定/数値目標に対して50～59%達成・前年度比93～97%
1 実現状況は不十分で努力を要する/数値目標に対して49%以下の達成・前年度比92%以下